ロータリーに輝きを

Weekly

尾張旭ロータリークラブ

集まろう・語ろう 楽しもう

・会　長　古橋　裕志　・幹 事　仲澤　昌容　・クラブ会報　福岡　健
・例会日　毎週金曜日 12:30　・例会場　〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
・事務局　尾張旭市商工会館　TEL 0561-54-1263　FAX 0561-54-8915
E-mail：jimu@owariasahi-rc.org　URL：http://www.owariasahi-rc.org

本　日　第2141回　2015年2月27日（金）　No. 2027

本日のプログラム　Today's Program　　**卓話担当者：箕輪　良孝　君**

点　鐘　　**卓話者：　〃**

ロータリーソング　「我等の生業」　　**演　題：「ロータリークラブ　あれこれ！　」**

前　回　第2140回　2015年2月20日（金）　記　録

○斉　唱：「我等の生業」
○来訪者：　なし
出席者：会員24名中18名出席　　出席率75.00%
前々回補正出席率　　２月６日分100%

会長あいさつ　古橋　裕志

世界理解月間の番外編として「アリの了見」と「異国の人と結ぶ」毎日たゆまず、こととことと働き、面白いことも楽しいこともなく、夫婦でコタツにあたりながら、会話を交わす、こんな平凡な営みが庶民の生活いわばアリの生活だそうです。アリといえばキリギリスのイソップ童話を想い出します。アリはせっせと食物を運び、仕事をしています。キリギリスは自由気ままに楽しんでいます。冬になるとキリギリスは恥を忍んでアリを訪ねてきます。アリは助力を拒否しキリギリスは飢えて死にます。

ここまでは我々が知っているお話ですが、それではあまりにも可愛いそうということで、アリは親切に彼を助けて「勤勉」の大切さを説きキリギリスは改心したという結末もあります。

さて、皆さまはこのような状況になった場合、どのように対処されますか。

①ざまぁ見ろと思いながら助けてやる。
②よくぞ私を頼ってくれたと助力を惜しまない。
③おまえなんか、死んでしまえとドアを閉める。

その他、いろんな考えがあると思いますが、これを書かれたエッセイストは③を採るようです。

我々ロータリアンとしてまたは一個人として皆さまはどうでしょうか

この話は真実です。

1890年　紀伊半島の大島で台風に遭遇したトルコ（当時はオスマン帝国）の船　エルトラールル号が沈没し、約500名が亡くなり、地元の人たちは総出で救助にあたり69名の命が救われました。今でも５年に一度慰霊祭が行われています。

この話が脚光を浴びたのが遭難から95年たった1985年イラン、イラク戦争で、イランの首都テヘランに日本人200名以上が空港に取り残されます。当時は日本の飛行機は就航していない時です。その時はトルコが「エルトラールル号の恩返しだ」と二機の救援機を飛ばして助けてくれました。

この話は、国際交流と相互理解を深める、示唆に富んだ例ではないでしょうか

幹事報告

・2/13　１２ＲＣ会長・幹事会　於国際ホテル　古橋裕志会長、仲澤幹事出席
・2/14　第３８回なわとび大会　於総合体育館　古橋裕志会長、菊田青少年奉仕委員長、加藤勇夫君出席
・次回の会合：2/21・22　地区大会
・例会変更のお知らせ：なし

ニコボックス

○本日卓話を担当します。よろしくお願いいたします。
古橋エツ子君
○古橋エツ子君さんのお話、日本を意識する時を楽しみにしています。　古橋　裕志君

識字率向上月間・ＯＦＤＹ月間

	3月　6日（金）	3月13日（金）	3月22日　（日）	3月27日　（金）
例会予定	卓話担当者：OFDY委員会 卓話者：古橋エツ子 ＯＦＤＹ委員長 演題：「ＯＦＤＹ月間に因んで」	卓話担当者：山田直樹 国際奉仕委員長 卓話者：地区国際奉仕委員 山田　拓　様 演題：「識字率と地区国際奉仕委員会の活動」	20日（金）振替 （東尾張分区） インターシティ・ミーテング １２ＲＣ合同例会 於ウェスティンナゴヤキャッスル 13:30 受付　14:00 開会	卓話担当者：菊田　利昭君 卓話者：　〃 演題：「相続の注意点」

○古橋エレクト卓話ご苦労様です。　箕輪　良孝君
○古橋エツ子さんの卓話、楽しみにしています。
金森　俊輔君
○庭には白梅、紅梅、福寿草、白ボ、赤ボケ、草花はマジメに生きています。春はそこまで。
古橋　裕志君
○18日、ゴルフ１０８たたきました。やっとぼんのうがとりはらわれました。　加藤　清久君
○お忙しの君　江尻　豪君、仲澤　昌容君

第38回なわとび大会

日　時　2014年２月14日13:30～
場　所　尾張旭市総合体育館２Ｆアリーナ
参加人数　１５９名
優　勝


2015年(平成27年)2月16日(月曜日)
中日新聞
1000回以上跳ぶ児童も
尾張旭でなわとび大会
なわとび大会に参加し、記録に挑戦する子どもたち＝尾張旭市総合体育館で

幼児　川地　央汰　様
１年　岩田　陽真　様
２年　川地　柑太　様
３年　糸戸川夕輝　様
４年　藤村ひなた　様
５年　辻　和佳奈　様
６年　三浦　優　様
一般　鈴木　悠平　様
（鈴木さんは4718回跳ばれれました）





△菊田君、古橋裕志君、加藤勇夫君、後ろの横断幕が今年贈呈されたものです。

△メダルを贈呈

卓　話

「日本を意識する時」　古橋エツ子



日本を意識するのは、海外へ行った時に気付かされます。初めて海外へ行ったのは40数年前でした。とくに、ドイツとスウェーデンは、私の研究対象国でしたから、両国内を巡り歩いていました。『ロータリーの友』の２月号に、人懐っこく、お世話焼きの南ドイツの人たちのことが書かれています。それを読みながら、「ウ～ン分かる分かる」と思わずうなづきました。よくビールを飲むとゲップをします。日本では問題にならないですが、ヨーロッパなどでは大変行儀が悪いことです。また、パスタなどを食べるときに音を立てること、鼻をすることなどもそうです。国によって行儀の悪いことが許される例外もありました。たとえば、スウェーデンでは、初夏から「ザリガニの解禁」がされますが、これを食べるときだけは、チューチューと音をたてても行儀が悪いとされないのです。中国へ国際シンポジウムで訪問した時、歓迎の食卓ではドンドンと料理がだされ、残しては悪いなぁと日本のマナーを思い浮かべましたが、幸い先輩の先生から「残すことが礼儀！」と言われて大丈夫でした。この他、箸の位置が縦、お茶碗などは置いたまま食べることなど、マナーの違いに戸惑いながら、日本・中国・韓国は、アジアとひとくくりにされながら、滞在中には幾度となく「日本を意識する時」を感じました。その一方で、スウェーデンから先生がいらした時、デパートでエスカレーターの脇に立って「いらっしゃいませ」とお辞儀だけしている若い女性を見て、「どういう人か？」と質問されました。説明すると、「お辞儀しかできない人かと思ったけど、もったいない配置の仕方ですね」と言われました。また、外国便のアテンダントは、誤解を受けないために笑顔を振りまかない、と聞いて、日本の男性が「アテンダントがにこやかに対応してくれたので、思わず気があるのかと思って電話番号を聞きたくなった」と言っていたことを理解しました。

地区大会

日時　2014年２月21日（土）・22日（日）
場所　ウェスティンナゴヤキャッスル



△当クラブ参加者です。





△近藤雄亮ガバナーあいさつ　△地区大会開会式

大会第１日目は天気も良く暖かい中、半田市福祉文化会館で行われました。会場に入るとすぐからくり人形とおはやしが歓迎をしてくれ、半田RCが半田のおもてなしをしてたと感じました。

次第は滞りなく進み30分早く半田市福祉文化会館の部は終了しました。会場をウエスティンナゴヤキャッスルに移してのRI会長代理晩餐会では無形文化財にふさわしい大獅子、小獅子の舞が披露されました。途中、おかめとひょっとこが登場し、30～40枚ほど、手ぬぐいを配りました。古橋エツ子さんも私も幸運にもいただくことができました。

２日目は少し雨が降っている中、とっても響きのある能楽笛方から始まりました。次第は問題なく進んだのですが、友愛の広場では、ちょっと物足りなさを感じました。全体としては半田RCのカラーが出ていた、とっても良い地区大会でした。　幹事　仲澤　昌容